

令和7年産 小麦の栽培しおり

(品種名: さめきの夢2009)

◎適期播種・適期防除(赤かび病防除は必須)・適期収穫に努めましょう

発行: 香川県農業協同組合
監修: 香川 県

1. 作業の要点 栽培履歴を必ず記載し、収穫の10日前までに提出しましょう

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
排水対策 (ほ場の乾田化) 排水溝の事例 排水溝の事例 排水溝の事例	耕起・播種・排水溝の設置 (溝あげ) 雑草防除(初期) 種子消毒 雑草防除(初期)	麦踏み・土入れ 追肥・土入れ 雑草防除(中)	追肥・土入れ 雑草防除(中)	追肥・土入れ 雑草防除(中)	追肥・土入れ 雑草防除(中)	赤かび病 アブラムシ防除	刈取り 乾燥調整	刈取り 乾燥調整
稲刈後のワラを浅く鋤き込み(3~5cm)排水溝を設ける。	雑草の発生が多い場合は、除草剤を散布する。 伝染病対策として種子を消毒する。 伝染病対策として種子を消毒する。 伝染病対策として種子を消毒する。	排水溝の事例 排水溝の事例 排水溝の事例	雑草防除(中) 雑草防除(中)	雑草防除(中) 雑草防除(中)	雑草防除(中) 雑草防除(中)	赤かび病防除(必須) アブラムシ防除	刈取り 乾燥調整	刈取り 乾燥調整

2. 生育の目安

播種期	節間伸長開始期	出穂期	開花期	成熟期
11月14日	2月22日	4月3日	4月16日	5月24日
11月24日	3月6日	4月8日	4月19日	5月26日

(香川県農業試験場(綾川町) H27~R6年産ドリル播)

3. 播種

播種適期	播種量(kg/10a)
11月15日~30日	7~9 13~15

種子更新を徹底し、種子伝染性の病害の発生を防止しましょう

4. 栽培のポイント

- 排水対策**
播種前対策: ほ場の周囲(ヨケ)と5m間隔に排水溝を設置するとともに、スタプルカルチャやサブソイラー、弾丸暗きよを施工する
播種後対策: ロータリー幅ごとに深さ15~20cmの排水溝を設置し、落水口と確実に連結する
- 土づくり肥料の施用で酸度矯正(適正pH6~6.5を目安とする)**
- 適切な肥培管理**
適正な施肥量と適期の追肥
- 雑草の体系防除**
播種前、初期、中期除草剤の体系処理による雑草防除の徹底
- 病害虫の防除**
赤かび病の適期(開花始めとその7~10日後の2回)防除
- 収穫の適正化**
適期収穫・雑草種子(カラスノエンドウ・ヤエムグラ)の混入防止

5. 肥培管理(土壌改良資材や堆肥を施用し、土づくりに努めましょう)

<例1>基肥減肥・追肥重点体系(砂質田(水はけの良いほ場))

肥料名	全量	基肥	中間追肥(1上~1中)	追肥(2下~3上)	成分		
					窒素	リン酸	カリ
いすれか (朝日BB488) (PKセーブエコ488)	80	35	20	25	11.2	8.0	9.6
					11.2	6.4	6.4
					11.2	6.4	6.4

注1) ほ場の地力、麦の生育状況等により、施肥量は加減する。
注2) 連播(12月以降の播種)の場合は、基肥(35kg/10a)と中間追肥(20kg/10a)を合計して基肥として施用する。
注3) ()内の肥料は低PK肥料のため、5年を目途に土壌診断を実施する。

<例2>基肥減肥・追肥重点体系(粘質田(水はけの悪いほ場))

肥料名	全量	基肥	中間追肥(1上~1中)	追肥(2下~3上)	成分		
					窒素	リン酸	カリ
いすれか (朝日BB488) (PKセーブエコ488)	90	35	25	30	12.6	9.0	10.8
					12.6	7.2	7.2
					12.6	7.2	7.2

注1) ほ場の地力、麦の生育状況等により、施肥量は加減する。
注2) 連播(12月以降の播種)の場合は、基肥(35kg/10a)と中間追肥(25kg/10a)を合計して基肥として施用する。
注3) ()内の肥料は低PK肥料のため、5年を目途に土壌診断を実施する。

<例3>基肥一発施肥体系

肥料名	全量	基肥	成分()内は粘質田		
			窒素	リン酸	カリ
さめきの夢一発	65(砂質田) 70(粘質田)	65(砂質田) 70(粘質田)	13.0	7.8	7.8
			(14.0)	(8.4)	(8.4)

注1) 省力を目的としているので、気象条件により収量が低下する可能性がある。
注2) 基肥一発施肥体系であっても、麦の生育に応じて追肥が必要な場合がある(特に暖冬、多雨の場合)。
注3) ()内の肥料は低PK肥料のため、5年を目途に土壌診断を実施する。

▼土壌改良資材の一覧表

肥料名	ケイ酸	苦土	成分(%)	
			アルカリ分	鉄分
いすれか 粒状ユキ鉄ケイカル	23	4	34	15
			53	0

注) 前年にpHの低下による酸性障害がでているほ場には、苦土石灰を100~150kg/10a程度施用する。
なお、pHを0.5上げるためには、苦土石灰約100kg/10aが必要。

6. 防除管理(農薬の飛散防止に努めましょう)

①種子消毒

病害虫名	薬剤	希釈倍数等	使用時期/回数	注意事項	作業日
裸黒穂病	ベンレートT水和剤20	乾燥種子重量の0.5%	播種前/1回	種子1kgに対し5gを粉衣する。	
	ベンレートTコート				

②病害虫防除

病害虫名	防除時期	薬剤	希釈倍数等	使用時期/回数	散布方法・注意事項等	作業日
赤かび病 ※必須防除	開花始め(1回目防除)	トップジンM水和剤	1,000~1,500倍	収穫14日前まで/出穂期以降は2回以内	10a当たり100ℓの水に(66.6~100g)溶き噴霧機等で散布する。	
	1回目防除の7~10日後	ワークアップフロアブル	2,000~3,000倍	収穫7日前まで/3回以内	10a当たり100ℓの水に(33.3~50ml)溶き噴霧機等で散布する。	
アブラムシ類	発生初期	アグロスリン乳剤	2,000倍	収穫21日前まで/3回以内	10a当たり100ℓの水に(50ml)溶き噴霧機等で散布する。	

①②③について記載している薬剤の使用基準は令和6年7月1日現在のものであり、今後変更になる場合があるので、使用する際は薬剤のラベルをよく読んでラベルの記載内容と一致に使用する。

③雑草防除

区分	薬剤	対象雑草名	使用時期/回数	10a当たり使用量	散布方法・注意事項等	作業日
非選択性除草剤(麦も枯れるので注意)	ブリグロックスL	一年生雑草	播種前または播種後出芽前/4回以内	600~1,000ml	10a当たり100~150ℓの水に溶き、雑草の茎葉全体に均一にかかると散布する。	
	バスタ液剤	一年生雑草	播種前または播種後出芽前(雑草発生期)/1回	300~500ml	10a当たり100~150ℓの水に溶き、雑草の茎葉全体に均一にかかると散布する。	
	ラウンドアップマックスロード	一年生雑草及び多年生イネ科雑草	耕起前または播種後出芽前(雑草発生期)/3回以内	200~500ml	(通常散布) 10a当たり50~100ℓの水に溶き、噴霧機等で散布する。(少量散布) 10a当たり25~50ℓの水に溶き、専用ノズル等で散布する。	
初期除草	ボクサー注1)	一年生雑草	播種後~麦2葉期まで(雑草発生前~発生初期)/2回以内	400~500ml	10a当たり70~100ℓの水に溶き、噴霧機等で散布する。抵抗性スズメノテッポウを対象とする場合は、薬量を所定の範囲内で多めにする。 ノミノフスマには効果が劣る。	
	リペレーターフロアブル	一年生雑草	播種後~麦3葉期まで(雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで)/1回	60~80ml	10a当たり100ℓの水に溶き、噴霧機等で散布する。播種深度が浅い場合は薬害を生ずる場合があるため使用しない。抵抗性スズメノテッポウを対象とする場合は、薬量を所定の範囲内で多めにする。	
	リペレーターG	一年生雑草	播種後~麦2葉期(雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで)/1回	4~5kg	手まきまたは散粒機等で均一に散布する。抵抗性スズメノテッポウを対象とする場合は、薬量を所定の範囲内で多めにする。	
中期除草	ハーモニーDF	一年生広葉雑草及びスズメノテッポウ	麦3葉期~節間伸長前(スズメノテッポウ5葉期まで)/1回	5~10g	10a当たり100ℓの水に溶き、噴霧機等で散布する。器具を使用後、速やかに消石灰水500倍液でよく洗浄する。	
	エコパートフロアブル	一年生広葉雑草	節間伸長開始期まで(一年生広葉雑草2~4葉期)(ただし、収穫45日前まで)/2回以内	50~100ml	10a当たり100ℓの水に溶き、噴霧機等で散布する。イネ科雑草には効果がなく、イネ科雑草が生育する場合はこれらに有効な除草剤との体系で使用する。	
	バサグラン液剤	一年生広葉雑草(イネ科を除く)	生育期但し、収穫45日前まで/1回	100~200ml	10a当たり70~100ℓの水に溶き、噴霧機等で散布する。イネ科雑草には効果がなく、イネ科雑草が生育する場合はこれらに有効な除草剤との体系で使用する。	
注2)注3)	MCPソーダ塩	一年生及び多年生広葉雑草	幼穂形成期但し、収穫45日前まで/1回	200~300g	10a当たり70~100ℓの水に溶き、噴霧機等で散布する。分けつ抑制作用があるため、茎数が十分に確保してから散布する。暖かい日が続く時期に散布すると、除草効果が低い。	

注1) 初期除草剤のボクサーを播種後出芽前に処理しようとする時、すでに雑草が発生している場合は、10a当たり100ℓの水に溶き、非選択性除草剤をあわせて散布し、噴霧機等で散布する。ただし、麦が出芽している場合は麦も枯れるので注意する。隣接ほ場の作物にからないよう注意する。
注2) 早播きのほ場や初期除草剤の散布が遅れたほ場、初期除草剤散布後に降雨があった場合など、雑草が繁茂している場合は、時機を逃さないように、天候を見ながら中期除草剤により雑草防除を行う。

●各雑草に対する中期除草剤の効果

除草剤・雑草名	ヤエムグラ	カラスノエンドウ	スズメノテッポウ	タデ
ハーモニーDF	○	△	○	△
エコパートフロアブル	○	△	—	○
バサグラン液剤	○	△	—	△
MCPソーダ塩	△	○	—	△

注) ○: 効く △: 多少は効く —: 登録なし

●主要畑地雑草

種名	ヤエムグラ	カラスノエンドウ	スズメノテッポウ	ノミノフスマ	スズメノカタビラ	カスノコグサ
草姿						
防除のポイント	中期除草剤による防除	収穫前に必ず採取	初期除草剤と中期除草剤の体系防除	中期除草剤による防除	播種前と初期除草剤の体系防除	播種前と初期除草剤の体系防除

作成: 2024年7月

排水対策を徹底し、単収向上と高品質化を図りましょう!

排水対策を徹底し、単収向上と高品質化を図りましょう!